

2. カリキュラム

2. カリキュラム

2. 1 カリキュラムの概要

1) 教育課程の構成

看護学科の教育課程は、大きく「総合基礎科目領域」、「専門科目領域」の2つの科目領域に分類されます。「総合基礎科目領域」は学士力を育むことを目的とし「共通基礎科目群」、「人間基礎科目群」、「外国語科目群」の3つの科目群から構成されています。また、「専門科目領域」は看護学を学ぶための基盤を固めることを目的とした「専門基礎科目群」と看護学の各領域における専門的な知識や技術を身に付けることを目的とした「専門科目群」の2つの科目群から構成されています。

【教育課程の構成】

科目領域	科目群		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群		
	人間基礎科目群		
	外国語科目群		
専門科目領域	専門基礎科目群	人間の構造や機能と疾病の成り立ち	
		健康支援と社会保障	
	専門科目群	看護の基本	
		看護の展開	地域看護学
			成人看護学
			老年看護学
			成人・老年看護学
			小児看護学
			母性看護学
			精神看護学
		看護の統合と発展	
		公衆衛生看護学	
		看護研究	

※2021年度以前入学生は、過年度配布の学生便覧を参照してください。

2) 授業科目の配当年次

各科目群・分野における授業科目の配当年次（履修すべき年次）は、知識・技術・人間力の向上に配慮し、基礎から専門へと体系的な学習が可能となるように4年に渡ってバランスよく設定しています。特に看護学の各領域においては、まず概論において目的論・対象論・方法論の概要を知識としておさえ、次いで看護を実施するために必要な看護技術を修得し模擬患者に対しての一連の看護過程を学修した後、臨地実習に臨めるように関連する授業科目の内容に留意して配当年次を設定しています。

3) 授業の方法

授業は、教育内容により、講義形式、演習形式、実習形式によって行います。

教育内容が知識の理解を中心とした授業科目では、主に講義形式で授業を行い、必要に応じて他分野を専門とする教員の講義を交えるなどオムニバス形式の授業を取り入れ、物事には多様な見方があることを理解します。ただし、講義形式においても一方向型の授業にならないよう、学生の理解度に合わせた授業展開を工夫し、課題提示やバズセッション等のグループ学習を組み込み双方向型の授業を展開します。

教育内容が態度・志向性及び技術の修得を中心とする授業科目では、主に演習形式で授業

Ⅲ 看護学部 〔2. カリキュラム〕

を行い、演習課題に対して学生自身が主体的かつ能動的に取り組むことにより課題解決能力を養います。また、教員や学生同士の話し合いなどを通して多様な考え方や価値観の存在を知ることにより、自身のコミュニケーション能力、チームワークとリーダーシップ等の能力を養います。

看護技術の修得に関する授業科目では、ロールプレイングを用いて看護の対象者と看護師・保健師の両者の立場を疑似体験することにより、より実践に近い状況で学習できるように工夫しています。また、看護過程を学習する授業科目では、事例を用いた問題解決型の学習方法を取り入れて授業を行います。

看護学領域の看護技術演習では、「演習要項」に演習目的・演習方法・演習課題・評価基準・事前事後学習の方法等を明示し、これを用いて学生が主体的かつ能動的に学習に臨めるように配慮しています。

臨地実習においても「臨地実習要項」を作成し、学生が実習課題と実習方法、順守すべき事項等を理解した上で主体的・能動的に取り組めるように配慮しています。

4) 授業の学生数

授業は、学生が効果的に学習できるように、授業の方法に適した学生数で行います。

講義形式中心の授業科目では、80人の学生を対象に授業を行います。このうち、人間の理解や健康の理解、社会の理解に関する講義また看護学領域の講義においては、標本・模型・DVD等の映像資料を効果的に活用し、講義の内容が深く理解できるように工夫します。また、語学教育は、教員と学生との双方向の授業が容易にできるように1学年80人を二分し40人のグループで授業を行います。

演習形式の授業科目では、教育の内容により1学年80人の学生を20人から40人のグループに分けて授業を行います。情報処理に関する授業科目は、コンピューターの操作など学生個々の学習に対し目を配れるように1学年80人を二分し40人のグループで授業を行います。また、演習ではグループ学習が効果的に行えるよう小グループに分けて授業を行います。

臨地実習においては、6人から7人程度のグループに分け、学生に合わせた学習支援を行います。

5) 実習教育の重視

看護の専門職者は、豊かな情操と確かな倫理観を持ち、豊富な教養と専門的な知識に基づいて、医療・福祉サービスを現に実践する能力が必須です。このため、4年間の大学教育を通じてその知識と技術を深めるとともに、その能力を養っていきます。中でも臨地実習は、講義や演習等で学んだ原理や方法論を実際に体験することで、さらに深い知識と高度な技術へと発展させていく重要な教育となります。また、この臨地実習は、看護の専門職者としての自覚を喚起する機会であると同時に自己を見つめて成長する大切な機会でもあるため、専門職養成の教育においては欠くことのできない重要な位置を占めています。

M E M O

2. 2 教育課程表（授業科目・単位数）

1) 2022 年度以降入学生適用教育課程

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	スタートアッププログラムⅠ	1	2			【卒業所要単位（124 単位以上）】 □ 総合基礎科目領域（24 単位以上） ① 必修 共通基礎科目群 10 単位 人間基礎科目群 4 単位 外国語科目群 2 単位 計 16 単位 ② 選択 総合基礎科目領域に配置する選択科目から 8 単位以上 ※うち 8 単位は、次のとおり履修すること。 ◎ 生活健康学・健康運動の実践・心理学・生命倫理・比較行動学のうちから 2 科目 4 単位 ◎ 公共政策論・経済と経営・国際関係論・環境資源論のうちから 2 科目 4 単位 □ 専門科目領域（100 単位以上） ① 必修 〈専門基礎科目群（24 単位）〉 人間の構造や機能と疾病の成り立ち 18 単位 健康支援と社会保障 6 単位 計 24 単位 〈専門科目群（72 単位）〉 看護の基本 16 単位 看護の展開 44 単位 看護の統合と発展 8 単位 看護研究 4 単位 計 72 単位 ② 選択 専門科目群に配置する選択科目から 4 単位以上
		スタートアッププログラムⅡ	1	1			
		情報リテラシー	1	1			
		情報処理	1	2			
		人権と法	1	2			
		統計学	1	2			
		生活健康学	1			2	
		生命倫理	1			2	
		数学・物理基礎	1			1	
		生物・化学基礎	1			1	
		比較行動学	1			2	
		健康運動の実践	2			2	
		公共政策論	2			2	
		経済と経営	2			2	
		心理学	2			2	
		現代医療史	2			2	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1			
		社会規範論	1	1			
		現代組織論	1	1			
		人間関係論	1	1			
		ボランティア活動の実際	1			1	
		国際関係論	1			2	
		環境資源論	1			2	
	外国語科目群	地域社会学	2			1	
		英語Ⅰ	1	1			
		英語Ⅱ	1	1			
		英語コミュニケーション	2			1	
		はじめての韓国語会話	1			1	
		はじめての中国語会話	1			1	
専門科目領域	人間の構造や機能と疾病の成り立ち	人体構造機能学Ⅰ	1	2			② 選択 専門科目群に配置する選択科目から 4 単位以上
		人体構造機能学Ⅱ	1	2			
		生化学	1	1			
		栄養学	1	1			
		薬理学	1	1			
		病理学	1	1			
		人間発達学	1	1			
		人間の健康と社会・心理的適応	2	2			
		疾病治療論Ⅰ	1	1			
		疾病治療論Ⅱ	1	1			
		疾病治療論Ⅲ	1	1			
		疾病治療論Ⅳ	2	1			
		疾病治療論Ⅴ	2	1			
		疾病治療論Ⅵ	2	1			
		疾病治療論Ⅶ	2	1			
	健康支援と社会保障	公衆衛生学	2	1			
		疫学	3			2	
		保健統計学Ⅰ	2	1			
		保健統計学Ⅱ	4			1	
		社会保障論	2	1			
		精神保健学	2	1			
		保健医療福祉行政論Ⅰ	2	2			
		保健医療福祉行政論Ⅱ	3			1	
		保健医療福祉行政論Ⅲ	4			1	

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備考
					必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	看護の基本	看護学概論	1	2			
			看護援助方法論Ⅰ	1	1			
			看護援助方法論Ⅱ	1	1			
			看護援助方法論Ⅲ	2	1			
			看護援助方法論Ⅳ	2	1			
			看護援助方法論Ⅴ	2	1			
			ヘルスアセスメントⅠ	1	1			
			ヘルスアセスメントⅡ	2	1			
			看護理論	2	1			
			基礎看護学実習Ⅰ	2	1			
			基礎看護学実習Ⅱ	2	2			
			看護倫理	3	1			
			看護技術到達演習	4	2			
		看護の展開	地域看護学概論	2	2			
			地域看護援助論Ⅰ	2	2			
			地域看護援助論Ⅱ	3	2			
			地域看護学実習	3	2			
			成人看護学概論	1	1			
			成人看護援助論Ⅰ	2	1			
			成人看護援助論Ⅱ	2	1			
			成人看護援助論Ⅲ	2	1			
			老年看護学概論	1	1			
			老年看護援助論	2	1			
			老年看護学実習（高齢者生活支援）	2	2			
			成人・老年看護援助論Ⅰ	2	2			
			成人・老年看護援助論Ⅱ	3	1			
			成人・老年看護援助論Ⅲ	3	1			
			成人・老年看護学実習Ⅰ（周術期看護）	3	2			
			成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	3	2			
			成人・老年看護学実習Ⅲ（リハビリテーション看護）	3	2			
			小児看護学概論	2	1			
			小児看護援助論Ⅰ	2	2			
			小児看護援助論Ⅱ	3	1			
			小児看護学実習	3	2			
			母性看護学概論	2	1			
			母性看護援助論Ⅰ	2	2			
			母性看護援助論Ⅱ	3	1			
			母性看護学実習	3	2			
			精神看護学概論	2	1			
			精神看護援助論Ⅰ	2	2			
			精神看護援助論Ⅱ	3	1			
			精神看護学実習	3	2			
		看護の統合と発展	看護体験演習	1	1			
			保健指導論	3	1			
			災害看護論	4	1			
			チーム医療演習	4	1			
			感染看護論	3			1	
			医療安全論	3			1	
			家族看護論	3			1	
			看護マネジメント論	4			1	
			緩和ケア論	4			1	
			看護教育論	4			1	
			看護総合実習Ⅰ（看護実践習熟）	4	2			
			看護総合実習Ⅱ（地域支援）	4	2			
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護支援論Ⅰ	3			2	
			公衆衛生看護支援論Ⅱ	3			2	
			公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	4			2	
			公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	4			2	
			公衆衛生看護管理論	4			2	
			公衆衛生看護学実習Ⅰ	3			2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ	4			3	
		看護研究	看護研究概論	3	1			
			看護研究方法論	3	1			
			看護研究実践	4	2			

専門科目群「公衆衛生看護学」に属する選択科目は、保健師免許取得希望者のうち選抜された学生のみが履修可能。

Ⅲ 看護学部 [2. カリキュラム]

2) 2020 年度・2021 年度入学生適用教育課程

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
基本教育科目	思考力の養成	情報リテラシー	1	1			【卒業所要単位 (124 単位以上)】 □ 基本教育科目 (24 単位以上) ① 必修 思考力の養成 4 単位 表現力の養成 2 単位 人間力の養成 4 単位 学習力の養成 3 単位 計 13 単位 ② 選択 基本教育科目に配置する選択科目から 11 単位以上 ※うち 10 単位は、次に指定する科目区分、科目数及び単位数に従って履修すること。 <u>人間の理解 3 科目 4 単位以上</u> <u>社会の理解 3 科目 6 単位</u> □ 専門教育関連科目 (23 単位) ○ 必修 健康と健康障害の理解 17 単位 <u>環境の理解 6 単位</u> 計 23 単位 □ 専門教育科目 (77 単位以上) ① 必修 看護の基本 16 単位 看護の展開 45 単位 看護の統合と発展 8 単位 公衆衛生看護学 1 単位 <u>看護研究 4 単位</u> 計 74 単位 ② 選択 専門教育科目に配置する選択科目から 3 単位以上
		情報処理	1			2	
		統計学	1	2			
		創造思考法	2	1			
	表現力の養成	英語 I	1	1			
		英語 II	1	1			
		英語リーディング・ライティング	2			1	
		英語コミュニケーション	2			1	
		英語会話	2			1	
		基礎韓国語	1			1	
		はじめての韓国語会話	2			1	
		基礎中国語	1			1	
		はじめての中国語会話	2			1	
	人間力の養成	健康科学論	1	1			
		自己管理と社会規範	1	1			
		チームワークとリーダーシップ	1	1			
		他者理解と信頼関係	1	1			
		ボランティア活動の実際	1			1	
	人間の理解	現代の倫理	1			2	
		心理と行動	2			2	
		学習と行動	1			2	
		生活健康学	1			2	
		スポーツの理論と実際 I	2			1	
		スポーツの理論と実際 II	2			1	
	社会の理解	法律と人権	1			2	
		政治と行政	2			2	
		経済と政策	2			2	
		平和と外交	1			2	
		環境と資源	1			2	
	学習力の養成	山梨の自然と文化・産業	1			2	
		スタートアッププログラム I	1	2			
		スタートアッププログラム II	1	1			
		看護教育のための生物・化学基礎	1			1	
		看護教育のための数学・物理基礎	1			1	
専門教育関連科目	健康と健康障害の理解	人体構造機能学 I	1	1			② 選択 専門教育科目に配置する選択科目から 3 単位以上
		人体構造機能学 II	1	2			
		人体構造機能学 III	1	1			
		生化学	1	1			
		人間の生殖と発達	1	1			
		人間の健康と社会・心理的適応	2	2			
		感染免疫学	1	2			
		栄養学	2	1			
		薬理学	2	1			
		病理学	1	1			
		疾病治療論 I	1	1			
		疾病治療論 II	2	1			
		疾病治療論 III	2	1			
		疾病治療論 IV	2	1			
	環境の理解	公衆衛生学	2	1			
		疫学	3・4			2	
		保健統計学 I	3	1			
		保健統計学 II	4			1	
		社会保障論	3	1			
		看護と関係法規	3	2			
		保健医療福祉行政論 I	3	1			
		保健医療福祉行政論 II	4			2	

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備考
				必修	選択必修	選択	
専門教育科目	看護の基本	看護学概論	1	2			
		看護援助方法論Ⅰ	1	2			
		看護援助方法論Ⅱ	2	1			
		看護過程演習	2	1			
		フィジカルアセスメント	1	2			
		看護倫理	3	1			
		看護理論	2	2			
		健康教育	3	1			
		看護体験実習	1	1			
		基礎看護学実習Ⅰ	1	1			
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2			
	看護の展開	成人看護学	成人看護学概論	1	1		
			成人看護援助論Ⅰ	2	2		
			成人看護援助論Ⅱ	2	2		
			成人看護援助論Ⅲ	3	1		
			成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	3	3		
			成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3	3		
		老年看護学	老年看護学概論	1	1		
			老年看護援助論Ⅰ	2	2		
			老年看護援助論Ⅱ	3	1		
			老年看護学実習Ⅰ（施設）	3	2		
			老年看護学実習Ⅱ（病棟）	3	2		
		小児看護学	小児看護学概論	2	1		
			小児看護援助論Ⅰ	2	2		
			小児看護援助論Ⅱ	3	1		
			小児看護学実習	3	2		
		母性看護学	母性看護学概論	2	1		
			母性看護援助論Ⅰ	2	2		
			母性看護援助論Ⅱ	3	1		
			母性看護学実習	3	2		
		精神看護学	精神看護学概論	2	1		
			精神看護援助論Ⅰ	2	2		
			精神看護援助論Ⅱ	3	1		
			精神看護学実習	3	2		
		在宅看護学	在宅看護学概論	2	2		
			在宅看護援助論Ⅰ	2	1		
			在宅看護援助論Ⅱ	3	1		
			在宅看護学実習Ⅰ（地域）	3	1		
			在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）	3	2		
	看護の統合と発展		災害看護論	4	1		
			災害看護援助論	4	1		
			地域医療論	4	1		
			多職種連携活動論	2	1		
			チーム医療演習	4	1		
			総合看護演習	4	1		
			看護総合実習	4	2		
			看護マネジメント論	4		1	
			緩和ケア論	4		1	
			感染看護論	4		1	
			医療安全論	4		1	
			看護教育論	4		1	
	公衆衛生看護学		公衆衛生看護学概論Ⅰ	2	1		
			公衆衛生看護学概論Ⅱ	3		1	
			公衆衛生看護支援論	3		2	
			公衆衛生看護活動展開論	4		2	
			公衆衛生看護管理論	4		2	
			公衆衛生看護学実習Ⅰ（保健所）	4		1	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ（市町村）	4		4	
	看護研究		看護研究Ⅰ	3	2		
			看護研究Ⅱ	4	2		

専門教育科目「公衆衛生看護学」に属する選択科目は、保健師免許取得希望者のうち選抜された学生のみが履修可能。

3) 2019 年度以前入学生適用教育課程

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
基本教育科目	思考力の養成	情報処理	1	2			【卒業所要単位 (124 単位以上)】 □ 基本教育科目 (24 単位以上) ① 必修 思考力の養成 5 単位 表現力の養成 4 単位 人間力の養成 4 単位 計 13 単位 ② 選択 基本教育科目に配置する選択科目から 11 単位以上 ※うち 10 単位は、次に指定する科目区分・科目数及び単位数に従って履修すること。 <u>人間の理解 3 科目 4 単位以上</u> <u>社会の理解 3 科目 6 単位</u> □ 専門教育関連科目 (23 単位) ○ 必修 健康と健康障害の理解 17 単位 <u>環境の理解 6 単位</u> 計 23 単位 □ 専門教育科目 (77 単位以上) ① 必修 看護の基本 16 単位 看護の展開 45 単位 看護の統合と発展 7 単位 公衆衛生看護学 1 単位 看護研究 4 単位 計 73 単位 ② 選択 専門教育科目に配置する選択科目から 4 単位以上
		統計分析法	1	1			
		問題解決法	1	1			
		創造思考法	2	1			
	表現力の養成	英語Ⅰ (基礎)	1	1			
		英語Ⅱ (応用・医療英語)	3	1			
		英語Ⅲ (実践)	4			1	
		日本語Ⅰ (作文・論文)	1	1			
		日本語Ⅱ (発表・討論)	1	1			
		日本語Ⅲ (読解・分析)	1			1	
	人間力の養成	自己管理と社会規範	1	1			
		チームワークとリーダーシップ	1	1			
		他者理解と信頼関係	1	1			
		地域活動と社会貢献	1	1			
	人間の理解	現代の倫理	1			2	
		心理と行動	1・2・3・4			2	
		学習と行動	1・2・3・4			2	
		健康と運動	1・2・3・4			2	
		健康と生活	1・2・3・4			1	
		歴史と文化	1・2・3・4			1	
	社会の理解	法律と人権	1・2・3・4			2	
		福祉と保障	1・2・3・4			2	
		政治と行政	1・2・3・4			2	
		経済と政策	1・2・3・4			2	
		平和と外交	1・2・3・4			2	
		環境と資源	1・2・3・4			2	
	学習力の養成	看護教育のための生物・化学基礎	1			1	
		看護教育のための数学・物理基礎	1			1	
専門教育関連科目	健康と健康障害の理解	人体構造機能学Ⅰ	1	1			□ 専門教育科目 (77 単位以上) ① 必修 看護の基本 16 単位 看護の展開 45 単位 看護の統合と発展 7 単位 公衆衛生看護学 1 単位 看護研究 4 単位 計 73 単位 ② 選択 専門教育科目に配置する選択科目から 4 単位以上
		人体構造機能学Ⅱ	1	2			
		人体構造機能学Ⅲ	1	1			
		生化学	1	1			
		人間の生殖と発達	1	1			
		人間の健康と社会・心理的適応	2	2			
		感染免疫学	1	2			
		栄養学	2	1			
		薬理学	2	1			
		病理学	1	1			
		疾病治療論Ⅰ	1	1			
		疾病治療論Ⅱ	2	1			
		疾病治療論Ⅲ	2	1			
		疾病治療論Ⅳ	2	1			
	環境の理解	公衆衛生学	2	1			
		疫学	3・4			2	
		保健統計学Ⅰ	3	1			
		保健統計学Ⅱ	4			1	
		社会保障論	3	1			
		看護と関係法規	3	2			
		保健医療福祉行政論Ⅰ	3	1			
		保健医療福祉行政論Ⅱ	4			2	

科目区分		科 目 名	配当年次	単位数			備 考	
				必修	選択必修	選択		
専門教育科目	看護の基本	看護学概論	1	2			*2018 年度以前に入学した学生は「在宅看護学実習Ⅱ（訪問看護ステーション）」となります。	
		看護援助方法論Ⅰ	1	2				
		看護援助方法論Ⅱ	2	1				
		看護過程演習	2	1				
		フィジカルアセスメント	1	2				
		看護倫理	3	1				
		看護理論	2	2				
		健康教育	3	1				
		看護体験実習	1	1				
		基礎看護学実習Ⅰ	1	1				
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2				
	看護の展開	成人看護学	成人看護学概論	1	1			
			成人看護援助論Ⅰ	2	2			
			成人看護援助論Ⅱ	2	2			
			成人看護援助論Ⅲ	3	1			
			成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	3	3			
			成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3	3			
		老年看護学	老年看護学概論	1	1			
			老年看護援助論Ⅰ	2	2			
			老年看護援助論Ⅱ	3	1			
			老年看護学実習Ⅰ（施設）	3	2			
			老年看護学実習Ⅱ（病棟）	3	2			
		小児看護学	小児看護学概論	2	1			
			小児看護援助論Ⅰ	2	2			
			小児看護援助論Ⅱ	3	1			
			小児看護学実習	3	2			
		母性看護学	母性看護学概論	2	1			
			母性看護援助論Ⅰ	2	2			
			母性看護援助論Ⅱ	3	1			
			母性看護学実習	3	2			
		精神看護学	精神看護学概論	2	1			
			精神看護援助論Ⅰ	2	2			
			精神看護援助論Ⅱ	3	1			
			精神看護学実習	3	2			
		在宅看護学	在宅看護学概論	2	2			
			在宅看護援助論Ⅰ	2	1			
			在宅看護援助論Ⅱ	3	1			
			在宅看護学実習Ⅰ（地域）	3	1			
			在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）*	3	2			
		看護の統合と発展	災害看護論	4	1			
			災害看護援助論	4	1			
			地域医療論	4	1			
			他職種連携活動論	2	1			
			総合看護演習	4	1			
	看護総合実習		4	2				
	看護マネジメント論		4			1		
	緩和ケア論		4			1		
	感染看護論		4			1		
	医療安全論		4			1		
	看護教育論		4			1		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論Ⅰ	2	1				
		公衆衛生看護学概論Ⅱ	3			1		
		公衆衛生看護支援論	3			2		
		公衆衛生看護活動展開論	4			2		
		公衆衛生看護管理論	4			2		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（保健所）	4			1		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（市町村）	4			4		
	看護研究	看護研究Ⅰ	3	2				
		看護研究Ⅱ	4	2				

専門教育科目「公衆衛生看護学」に属する選択科目は、保健師免許取得希望者のうち選抜された学生のみが履修可能。

*2018年度以前に入学した学生は「在宅看護学実習Ⅱ（訪問看護ステーション）」となります。

専門教育科目「公衆衛生看護学」に属する選択科目は、保健師免許取得希望者のうち選抜された学生のみが履修可能。

【2021 年度以前入学生 専門教育関連科目・専門教育科目 必修科目（1～3 年次）】

科目区分	1 年次	2 年次	3 年次
専門教育関連科目	・人体構造機能学Ⅰ ・人体構造機能学Ⅱ ・人体構造機能学Ⅲ ・生化学	・人間の健康と社会・心理的適応 ・栄養学 ・薬理学	・疾病治療論Ⅱ ・疾病治療論Ⅲ ・疾病治療論Ⅳ ・公衆衛生学
専門教育科目	・看護学概論 ・看護援助方法論Ⅰ ・フィジカルアセスメント ・看護体験実習 ・基礎看護学実習Ⅰ ・成人看護学概論 ・老年看護学概論	・看護援助方法論Ⅱ ・看護過程演習 ・看護理論 ・基礎看護学実習Ⅱ ・成人看護援助論Ⅰ ・成人看護援助論Ⅱ ・老年看護援助論Ⅰ ・小児看護学概論 ・小児看護援助論Ⅰ	・母性看護学概論 ・母性看護援助論Ⅰ ・精神看護学概論 ・精神看護援助論Ⅰ ・在宅看護援助論Ⅰ ・在宅看護援助論Ⅱ ・多職種連携活動論（他職種連携活動論） ・公衆衛生看護学概論Ⅰ
			・保健統計学Ⅰ ・社会保障論 ・看護と関係法規 ・保健医療福祉行政論Ⅰ
			・看護倫理 ・健康教育 ・成人看護援助論Ⅲ ・成人看護学実習Ⅰ ・成人看護学実習Ⅱ ・老年看護援助論Ⅱ ・老年看護学実習Ⅰ ・老年看護学実習Ⅱ
			・小児看護援助論Ⅱ ・小児看護学実習 ・母性看護援助論Ⅱ ・母性看護学実習 ・精神看護援助論Ⅱ ・精神看護学実習 ・在宅看護援助論Ⅱ ・在宅看護学実習Ⅰ ・在宅看護学実習Ⅱ ・看護研究Ⅰ

※ 3 年次から 4 年次への進級については、原則各表に掲げる 3 年次配当の進級に係る科目のすべてに合格していることが要件となりますが、判定時において当該科目のうち不合格又は成績未判定の実習科目が 1 科目であった学生は、進級が適当であると判断される場合に限り進級を可とすることがあります。
(必ずしも進級が可となるわけではありませんので注意してください。)

(2) 進級判定対象年次・判定時期

進級の可否は、進級要件に基づき教務委員会の審査を経て、その審査結果をもとに看護学部教授会において判定します。判定を行う年次及び時期は、次のとおりです。

年 次 : 1 年次・2 年次・3 年次（4 年次は卒業判定となります。）
時 期 : 年度末

(3) 進級の認定

進級の認定は、進級判定の結果に基づき看護学部学部長が行います。

(4) 留年した学生の履修

進級判定により進級が「否」と判定された学生は、現に在籍する年次に留まります。

この場合、留まった年次に配当されている専門科目領域（2021 年度以前入学生：専門教育関連科目・専門教育科目）に属する必修科目のうち、成績評価が「不合格（放棄を含む）」となった授業科目を、翌年度、再履修する必要があります。

そのほか履修できる授業科目は、留まった年次に配当する未だ単位を修得していない授業科目に限られ、在籍する年次よりも上位の年次に配当されている授業科目は履修することができません。例えば、1 年次に留年した場合は、2 年次以上に配当されている授業科目を履修することができません。

なお、再履修を課された授業科目を除くすでに合格した授業科目は、進級することができなかった場合でも成績評価に変更は生じることなく取得した単位も通常どおり認められます。したがって、これらの授業科目も再度履修することはできません。復習のためすでに合格した授業科目を再受講したい場合は、その授業科目の担当教員に相談してください。聴講を認めることがあります。

留年した学生の進級判定は、通常の前年度と変わらず当該年度で履修した授業科目を基に「(1) 進級要件」(P170) により判定されます。

3) 卒業

看護学科の卒業要件は、次のとおりです。次の要件を全て満たした学生に卒業を認定します。

【卒業要件】

- | |
|---|
| ① 休学期間を除き4年以上の在学年数を経ていること。
② 教育課程の所要単位（124単位以上）を修めていること。
③ 納入すべき学費が全て完納されていること。 |
|---|

※ 卒業に必要な教育課程の所要単位は、P164～169にある教育課程表を確認してください。

4) 学位

卒業を認定した者に対しては、次の学位を授与します。

【学位】

和名	英訳名称
学士（看護学）	Bachelor of Nursing

2. 4 免許

1) 免許取得の要件

看護学科では、「看護師」「保健師」「養護教諭二種」の免許取得をめざすことができます。これらの免許は、次の要件をそれぞれ満たすことにより取得することができます。

【各免許の取得要件】

免許種別	取得要件
看護師	① 看護師の指定規則に応じた授業科目の単位（本学科における卒業に要する単位）を修め、卒業すること。 ② 看護師の国家試験に合格すること。
保健師	① 看護師及び保健師の指定規則に応じた授業科目の単位を修め、卒業すること。 ② 看護師及び保健師の両国家試験に合格すること。
養護教諭二種	① 看護師、保健師及び養護教諭の指定規則に応じた授業科目の単位を修め、卒業すること。 ② 看護師及び保健師の両国家試験に合格すること。

※ 看護師及び保健師の要件①を満たすことにより、それぞれの免許の国家試験受験資格を得ることができます。

※ 養護教諭二種免許の取得には、保健師及び看護師の両免許の取得が必須の条件となります。

※ 養護教諭二種免許状は、各都道府県教育委員会への申請により授与されます。

2) 保健師免許取得希望者の選抜

保健師国家試験の受験を希望する場合は、看護師に関わる授業科目に加え保健師国家試験受験に関わる指定された授業科目（以下、「保健師受験資格科目」という。）を履修し単位を修める必要があります。2つの資格に係る学習を同時に行っていくため、学生個人に掛かる学習量も増え、これに耐えうる学力と学習意欲などが必要となります。

このため、保健師受験資格科目の履修については、保健師免許の取得を希望する学生の学力等を審査し、選抜したうえで教育を行っていきます。

選抜人員	20 名以内
選抜時期	2 年次後期
選抜方法	選抜は、次の項目により行う。 ① 2 年次までに修得すべき専門科目領域（2021 年度以前入学生：専門教育関連科目・専門教育科目）の必修科目の成績 ② 面接
出願資格	看護学部の 2 年次に在籍し、2 年次までに修得すべき必修科目のすべての単位を修得することが見込まれる者。

2. 5 教育課程と指定規則の関係

「看護師」及び「保健師」の国家試験受験資格の取得並びに「養護教諭二種」の免許申請のためには、それぞれ修めなければならない教育内容及び単位が指定規則として法令で定められています。各学校は、この指定規則に従って教育課程を編成しています。

次の表は、看護学科で開講する授業科目が各免許の指定規則に対してどのように対比しているかを表しています。

1) 看護師課程指定規則と看護学科授業科目の対比表

(1) 2022 年度以降入学生適用 看護師課程指定規則／看護学科授業科目 対比表

看護師課程指定規則		看護学科授業科目			
教育内容		単位数	授業科目名	単位数	
				必修	選択
基礎分野	科学的思考の基盤	} 14	スタートアッププログラムⅠ	2	
	スタートアッププログラムⅡ		1		
	情報リテラシー		1		
	情報処理		2		
	人権と法		2		
	統計学		2		
	生活健康学			2	
	生命倫理			2	
	数学・物理基礎			1	
	生物・化学基礎			1	
	比較行動学			2	
	健康運動の実践			2	
	公共政策論			2	
	経済と経営			2	
	心理学			2	
	現代医療史			2	
	健康科学論		1		
	社会規範論		1		
	現代組織論		1		
	人間関係論		1		
	ボランティア活動の実際			1	
	国際関係論			2	
	環境資源論			2	
	地域社会学			1	
	英語Ⅰ		1		
	英語Ⅱ		1		
	英語コミュニケーション			1	
	はじめての韓国語会話		1		
	はじめての中国語会話		1		
計			16	27	

Ⅲ 看護学部 〔2. カリキュラム〕

看護師課程指定規則			看護学科授業科目		
教育内容		単位数	授業科目名	単位数	
				必修	選択
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	16	人体構造機能学Ⅰ	2	
			人体構造機能学Ⅱ	2	
			生化学	1	
			栄養学	1	
			薬理学	1	
			病理学	1	
			人間発達学	1	
			人間の健康と社会・心理的適応	2	
			疾病治療論Ⅰ	1	
			疾病治療論Ⅱ	1	
			疾病治療論Ⅲ	1	
			疾病治療論Ⅳ	1	
			疾病治療論Ⅴ	1	
			疾病治療論Ⅵ	1	
			疾病治療論Ⅶ	1	
	計		18		
	健康支援と社会保障制度	6	公衆衛生学	1	
			疫学		2
			保健統計学Ⅰ	1	
			保健統計学Ⅱ		1
			社会保障論	1	
			精神保健学	1	
			保健医療福祉行政論Ⅰ	2	
			保健医療福祉行政論Ⅱ		1
	保健医療福祉行政論Ⅲ		1		
	計		6	5	
	専門分野	基礎看護学	11	看護学概論	2
看護援助方法論Ⅰ				1	
看護援助方法論Ⅱ				1	
看護援助方法論Ⅲ				1	
看護援助方法論Ⅳ				1	
看護援助方法論Ⅴ				1	
ヘルスアセスメントⅠ				1	
ヘルスアセスメントⅡ				1	
看護理論				1	
看護倫理				1	
看護体験演習				1	
保健指導論				1	
計				13	
地域・在宅看護論		6	地域看護学概論	2	
			地域看護援助論Ⅰ	2	
			地域看護援助論Ⅱ	2	
			計		6
成人看護学		6	成人看護学概論	1	
			成人看護援助論Ⅰ	1	
			成人看護援助論Ⅱ	1	
			成人看護援助論Ⅲ	1	
			成人・老年看護援助論Ⅰ	*1	
			成人・老年看護援助論Ⅱ	*0.5	
			成人・老年看護援助論Ⅲ	*0.5	
計		6			
老年看護学		4	老年看護学概論	1	
			老年看護援助論	1	
	成人・老年看護援助論Ⅰ		*1		
	成人・老年看護援助論Ⅱ		*0.5		
	成人・老年看護援助論Ⅲ		*0.5		
	計		4		
小児看護学	4	小児看護学概論	1		
		小児看護援助論Ⅰ	2		
		小児看護援助論Ⅱ	1		
		計		4	

(※) 単位数に * 印のある科目は、当該科目の正規単位数の 1/2 として計算する。

Ⅲ 看護学部 〔2. カリキュラム〕

看護師課程指定規則			看護学科授業科目		
教育内容		単位数	授業科目名	単位数	
				必修	選択
専門分野	母性看護学	4	母性看護学概論	1	
			母性看護援助論Ⅰ	2	
			母性看護援助論Ⅱ	1	
			計	4	
	精神看護学	4	精神看護学概論	1	
			精神看護援助論Ⅰ	2	
			精神看護援助論Ⅱ	1	
			計	4	
	看護の統合と実践	4	看護技術到達演習	2	
			災害看護論	1	
			チーム医療演習	1	
			感染看護論		1
			医療安全論		1
			家族看護論		1
			看護マネジメント論		1
			緩和ケア論		1
			看護教育論		1
			看護研究概論	1	
			看護研究方法論	1	
			看護研究実践	2	
			計	8	6
	臨地実習	3	基礎看護学実習Ⅰ	1	
			基礎看護学実習Ⅱ	2	
			小計	3	
		2	地域看護学実習	2	
			小計	2	
		4	老年看護学実習（高齢者生活支援）	2	
			成人・老年看護学実習Ⅰ（周術期看護）	2	
			成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	2	
			成人・老年看護学実習Ⅲ（リハビリテーション看護）	2	
			小計	8	
		2	小児看護学実習	2	
			小計	2	
		2	母性看護学実習	2	
			小計	2	
		2	精神看護学実習	2	
			小計	2	
		2	看護総合実習Ⅰ（看護実践習熟）	2	
			看護総合実習Ⅱ（地域支援）	2	
			小計	4	
		23	計	23	

(2) 2021 年度以前入学生 看護師課程指定規則／看護学科授業科目 対比表

看護師課程指定規則			看護学科授業科目							
教育内容		単位数	2020・2021 年度入学生			2019 年度以前入学生				
			授業科目名	単位数		授業科目名	単位数			
				必修	選択		必修	選択		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	13	情報リテラシー	1		情報処理	2			
			情報処理		2	統計分析法	1			
			統計学	2		問題解決法	1			
			創造思考法	1		創造思考法	1			
			英語Ⅰ	1		英語Ⅰ（基礎）	1			
			英語Ⅱ	1		英語Ⅱ（応用・医療英語）	1			
			英語リーディング・ライティング		1	英語Ⅲ（実践）		1		
			英語コミュニケーション		1	日本語Ⅰ（作文・論文）	1			
			英語会話		1	日本語Ⅱ（発表・討論）	1			
			基礎韓国語		1	日本語Ⅲ（読解・分析）		1		
			はじめての韓国語会話		1	自己管理と社会規範	1			
			基礎中国語		1	チームワークとリーダーシップ	1			
			はじめての中国語会話		1	他者理解と信頼関係	1			
			健康科学論	1		地域活動と社会貢献	1			
			自己管理と社会規範	1		現代の倫理		2		
			チームワークとリーダーシップ	1		心理と行動		2		
			他者理解と信頼関係	1		学習と行動		2		
			ボランティア活動の実際		1	健康と運動		2		
			現代の倫理		2	健康と生活		1		
			心理と行動		2	歴史と文化		1		
			学習と行動		2	法律と人権		2		
			生活健康学		2	福祉と保障		2		
			スポーツの理論と実際Ⅰ		1	政治と行政		2		
			スポーツの理論と実際Ⅱ		1	経済と政策		2		
			法律と人権		2	平和と外交		2		
			政治と行政		2	環境と資源		2		
			経済と政策		2	看護教育のための生物・化学基礎		1		
			平和と外交		2	看護教育のための数学・物理基礎		1		
			環境と資源		2					
			山梨の自然と文化・産業		2					
			スタートアッププログラムⅠ	2						
			スタートアッププログラムⅡ	1						
			看護教育のための生物・化学基礎		1					
			看護教育のための数学・物理基礎		1					
			計			13	34	計		
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	15	人体構造機能学Ⅰ	1		人体構造機能学Ⅰ	1			
			人体構造機能学Ⅱ	2		人体構造機能学Ⅱ	2			
			人体構造機能学Ⅲ	1		人体構造機能学Ⅲ	1			
			生化学	1		生化学	1			
			人間の生殖と発達	1		人間の生殖と発達	1			
			人間の健康と社会・心理的適応	2		人間の健康と社会・心理的適応	2			
			感染免疫学	2		感染免疫学	2			
			栄養学	1		栄養学	1			
			薬理学	1		薬理学	1			
			病理学	1		病理学	1			
			疾病治療論Ⅰ	1		疾病治療論Ⅰ	1			
			疾病治療論Ⅱ	1		疾病治療論Ⅱ	1			
			疾病治療論Ⅲ	1		疾病治療論Ⅲ	1			
			疾病治療論Ⅳ	1		疾病治療論Ⅳ	1			
			計			17		計		
	健康支援と社会保障制度	6	公衆衛生学	1		公衆衛生学	1			
			保健統計学Ⅰ	1		保健統計学Ⅰ	1			
			社会保障論	1		社会保障論	1			
			看護と関係法規	2		看護と関係法規	2			
			保健医療福祉行政論Ⅰ	1		保健医療福祉行政論Ⅰ	1			
	計			6		計			6	
専門分野Ⅰ	基礎看護学	10	看護学概論	2		看護学概論	2			
			看護援助方法論Ⅰ	2		看護援助方法論Ⅰ	2			
			看護援助方法論Ⅱ	1		看護援助方法論Ⅱ	1			
			看護過程演習	1		看護過程演習	1			
			フィジカルアセスメント	2		フィジカルアセスメント	2			
			看護倫理	1		看護倫理	1			
			看護理論	2		看護理論	2			
			健康教育	1		健康教育	1			
			公衆衛生看護学概論Ⅰ	1		公衆衛生看護学概論Ⅰ	1			
計			13		計			13		

Ⅲ 看護学部 〔2. カリキュラム〕

看護師課程指定規則			看護学科授業科目						
教育内容		単位数	2020・2021 年度入学生			2019 年度以前入学生			
			授業科目名	単位数 必修 選択		授業科目名	単位数 必修 選択		
専門分野Ⅰ	臨地実習 基礎看護学	3	看護体験実習	1		看護体験実習	1		
			基礎看護学実習Ⅰ	1		基礎看護学実習Ⅰ	1		
			基礎看護学実習Ⅱ	2		基礎看護学実習Ⅱ	2		
			計	4		計	4		
専門分野Ⅱ	成人看護学	6	成人看護学概論	1		成人看護学概論	1		
			成人看護援助論Ⅰ	2		成人看護援助論Ⅰ	2		
			成人看護援助論Ⅱ	2		成人看護援助論Ⅱ	2		
			成人看護援助論Ⅲ	1		成人看護援助論Ⅲ	1		
			計	6		計	6		
	老年看護学	4	老年看護学概論	1		老年看護学概論	1		
			老年看護援助論Ⅰ	2		老年看護援助論Ⅰ	2		
			老年看護援助論Ⅱ	1		老年看護援助論Ⅱ	1		
			計	4		計	4		
	小児看護学	4	小児看護学概論	1		小児看護学概論	1		
			小児看護援助論Ⅰ	2		小児看護援助論Ⅰ	2		
			小児看護援助論Ⅱ	1		小児看護援助論Ⅱ	1		
			計	4		計	4		
	母性看護学	4	母性看護学概論	1		母性看護学概論	1		
			母性看護援助論Ⅰ	2		母性看護援助論Ⅰ	2		
			母性看護援助論Ⅱ	1		母性看護援助論Ⅱ	1		
			計	4		計	4		
	精神看護学	4	精神看護学概論	1		精神看護学概論	1		
			精神看護援助論Ⅰ	2		精神看護援助論Ⅰ	2		
			精神看護援助論Ⅱ	1		精神看護援助論Ⅱ	1		
			計	4		計	4		
	臨地実習	成人看護学	6	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	3		成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	3	
				成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3		成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3	
				小計	6		小計	6	
		老年看護学	4	老年看護学実習Ⅰ（施設）	2		老年看護学実習Ⅰ（施設）	2	
				老年看護学実習Ⅱ（病棟）	2		老年看護学実習Ⅱ（病棟）	2	
				小計	4		小計	4	
		小児看護学	2	小児看護学実習	2		小児看護学実習	2	
				小計	2		小計	2	
		母性看護学	2	母性看護学実習	2		母性看護学実習	2	
				小計	2		小計	2	
		精神看護学	2	精神看護学実習	2		精神看護学実習	2	
				小計	2		小計	2	
					計	16		計	16
総合分野	在宅看護論	4	在宅看護学概論	2		在宅看護学概論	2		
			在宅看護援助論Ⅰ	1		在宅看護援助論Ⅰ	1		
			在宅看護援助論Ⅱ	1		在宅看護援助論Ⅱ	1		
			計	4		計	4		
	看護の統合と実践	4	災害看護論	1		災害看護論	1		
			災害看護援助論	1		災害看護援助論	1		
			地域医療論	1		地域医療論	1		
			他職種連携活動論	1		他職種連携活動論	1		
			チーム医療演習	1		総合看護演習	1		
			総合看護演習	1		看護マネージメント論		1	
			看護マネージメント論		1	緩和ケア論		1	
			緩和ケア論		1	感染看護論		1	
			感染看護論		1	医療安全論		1	
			医療安全論		1	看護教育論		1	
			看護教育論		1	看護研究Ⅰ		2	
			看護研究Ⅰ	2		看護研究Ⅱ		2	
			看護研究Ⅱ	2					
			計	10	5	計	9	5	
	臨地実習	在宅看護論	2	在宅看護学実習Ⅰ（地域）	1		在宅看護学実習Ⅰ（地域）	1	
				在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）	2		在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）*	2	
				小計	3		小計	3	
		看護の統合と実践	2	看護総合実習	2		看護総合実習	2	
				小計	2		小計	2	
				計	5		計	5	

※ 2019 年度以前入学生の表に示す「在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）」は、2018 年度以前に入学した学生においては「在宅看護学実習Ⅱ（訪問看護ステーション）」となります。

2) 保健師課程指定規則と看護学科授業科目の対比表

(1) 2022 年度以降入学生適用 保健師課程指定規則／看護学科授業科目 対比表

保健師課程指定規則			看護学科授業科目		
教育内容		単位数	授業科目名	単位数	
				必修	選択
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	公衆衛生学	1	
			地域看護学概論	2	
			計	3	
	個人・家族・集団・組織の支援 公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論	16	地域看護援助論Ⅰ	2	
			地域看護援助論Ⅱ	2	
			保健指導論	1	
			災害看護論	1	
			公衆衛生看護支援論Ⅰ		2
			公衆衛生看護支援論Ⅱ		2
			公衆衛生看護活動展開論Ⅰ		2
			公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2
			公衆衛生看護管理論		2
			計	6	10
	疫学		2	疫学	
計				2	
保健統計学	2	保健統計学Ⅰ	1		
		保健統計学Ⅱ		1	
		計	1	1	
保健医療福祉行政論	4	保健医療福祉行政論Ⅰ	2		
		保健医療福祉行政論Ⅱ		1	
		保健医療福祉行政論Ⅲ		1	
		計	2	2	
臨地実習	個人・家族・集団・組織の支援実習	2	地域看護学実習	2	
			公衆衛生看護学実習Ⅰ		2
			計	2	2
	公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理論実習	3	公衆衛生看護学実習Ⅱ		3
			計		3

※ 保健師免許の取得をめざす場合は、右側に示す看護学科授業科目すべての単位（選択科目の単位も含む。）を修得する必要があります。

(2) 2021 年度以前入学生 保健師課程指定規則／看護学科授業科目 対比表

保健師課程指定規則			看護学科授業科目		
教育内容		単位数	授業科目名	単位数	
				必修	選択
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	公衆衛生学	1	
			公衆衛生看護学概論Ⅰ	1	
			公衆衛生看護学概論Ⅱ		1
			計	2	1
	個人・家族・集団・組織の支援 公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論	14	健康教育	1	
			在宅看護学概論	2	
			在宅看護援助論Ⅰ	1	
			在宅看護援助論Ⅱ	1	
			災害看護論	1	
			災害看護援助論	1	
			地域医療論	1	
			他職種連携活動論	1	
			公衆衛生看護支援論		2
			公衆衛生看護活動展開論		2
	公衆衛生看護管理論		2		
	計	9	6		
疫学		2	疫学		2
			計		2
保健統計学		2	保健統計学Ⅰ	1	
			保健統計学Ⅱ		1
			計	1	1
保健医療福祉行政論		3	保健医療福祉行政論Ⅰ	1	
			保健医療福祉行政論Ⅱ		2
			計	1	2

保健師課程指定規則		看護学科授業科目		
教育内容	単位数	授業科目名	単位数	
			必修	選択
臨地実習	5	在宅看護学実習Ⅰ（地域）	1	
		在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）*	2	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（保健所）		1
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（市町村）		4
		計	3	5

- ※ 保健師免許の取得をめざす場合は、右側に示す看護学科授業科目すべての単位（選択科目の単位も含む。）を修得する必要があります。
- ※ 「在宅看護学実習Ⅱ（在宅療養者支援）」は、2018年度以前に入学した学生においては「在宅看護学実習Ⅱ（訪問看護ステーション）」となります。

3) 養護教諭二種課程指定規則と看護学科授業科目の対比表

(1) 2022年度以降入学生適用 養護教諭二種課程指定規則／看護学科授業科目 対比表

養護教諭二種課程指定規則		看護学科授業科目		
教育内容	単位数	授業科目名	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	人権と法	2	
体育	2	健康運動の実践		2
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	1	
		英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	情報処理	2	

- ※ 養護教諭二種免許の取得をめざす場合は、「2）保健師課程指定規則と看護学科授業科目の対比表（1）」に示す授業科目に加え、右側に示す看護学科授業科目すべての単位（選択科目の単位も含む。）を修得する必要があります。

(2) 2021年度以前入学生適用 養護教諭二種課程指定規則／看護学科授業科目 対比表

養護教諭二種課程指定規則		看護学科授業科目					
教育内容	単位数	2020年度以降入学生			2019年度以前入学生		
		授業科目名	単位数		授業科目名	単位数	
			必修	選択		必修	選択
日本国憲法	2	法律と人権		2	法律と人権		2
体育	2	スポーツの理論と実際Ⅰ		1	健康と運動		2
		スポーツの理論と実際Ⅱ		1			
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ	1		英語Ⅰ（基礎）	1	
		英語Ⅱ	1		英語Ⅱ（応用・討論）	1	
情報機器の操作	2	情報処理	2		情報処理	2	

- ※ 養護教諭二種免許の取得をめざす場合は、「2）保健師課程指定規則と看護学科授業科目の対比表（2）」に示す授業科目に加え、入学年度に応じて右側に示す看護学科授業科目すべての単位（選択科目の単位も含む。）を修得する必要があります。

M E M O